

Part 1

CHAPTER

5

販売管理アプリケーションの開発③
顧客企業の担当者情報を管理する

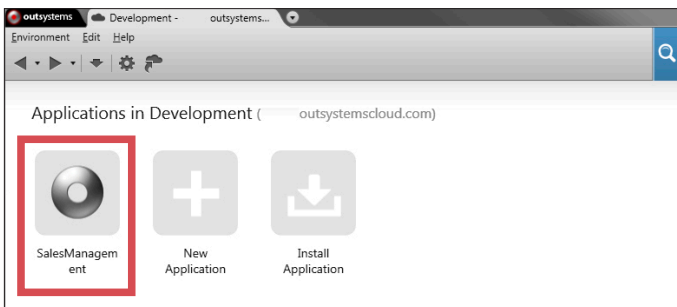
5.1. 顧客企業担当者情報のデータモデルを追加する

アプリケーションの変更を開始する

「SalesManagement」 eSpaceを開いている場合はそのまま、開いていない場合は以下手順により eSpaceを開きます。

- 01 「SalesManagement」アプリケーションをクリックして開く。
- 02 「MODULES」から「SalesManagement」 eSpaceをクリックし、eSpaceが開くことを確認する。

01



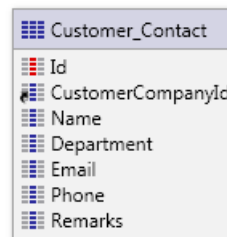
02



データモデルを作成する

顧客企業担当者情報を格納するデータモデルを作成します。「Customer_Contact」というEntityを作成して、以下の情報を格納できるようEntity Attributeを追加していきます。

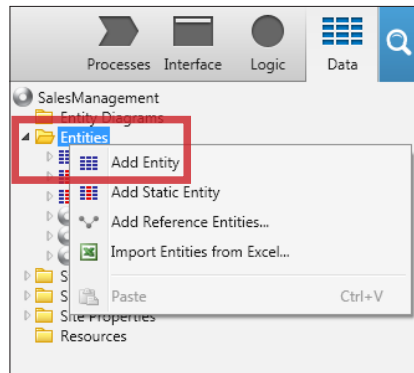
- 企業情報
- 氏名
- 部署名
- メールアドレス
- 電話番号
- 備考



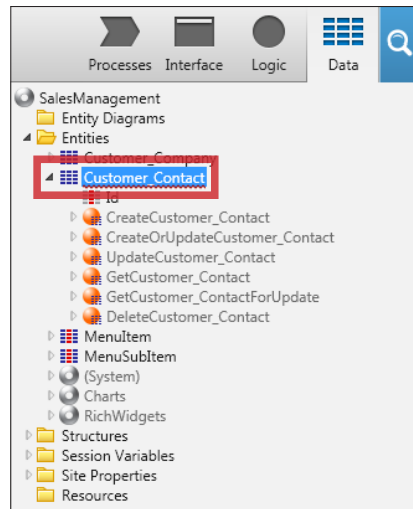
01 Data レイヤを開き、「Entities」フォルダを右クリックし、「Add Entity」から Entity を追加する。

02 作成された「Entity1」を「Customer_Contact」にリネームする。

01



02



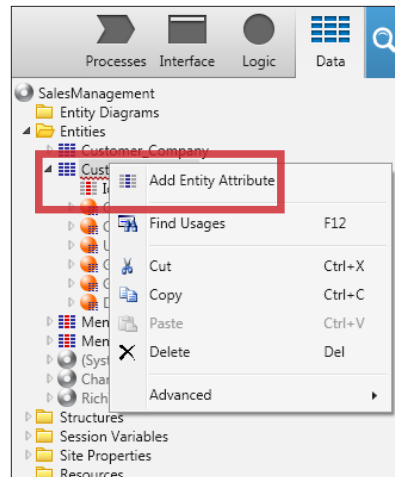
03 「Customer_Contact」 Entity を右クリックし、「Add Entity Attribute」から Attribute を追加する。

04 作成された「Attribute1」を「Name」にリネームする。

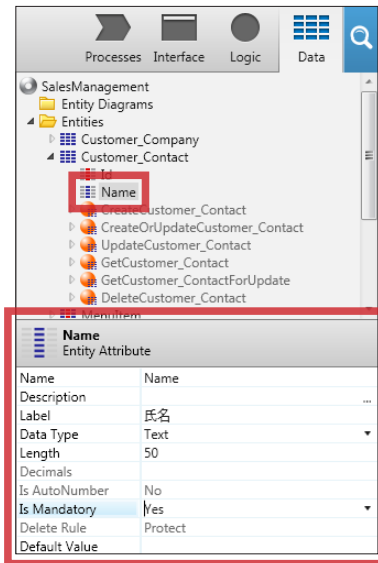
05 「Name」 Attribute の Label、Length、Is Mandatory を以下のように設定する。

- Label : 氏名
- Data Type : Text
- Length : 50
- Is Mandatory : Yes

03

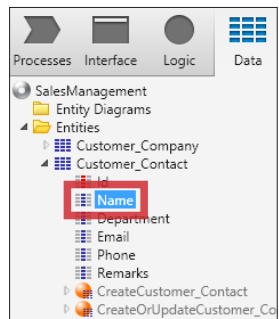


04・05

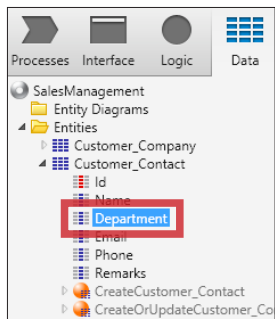


06 同様の手順で、以下の Entity Attribute を追加し、画像のようにプロパティを設定する。

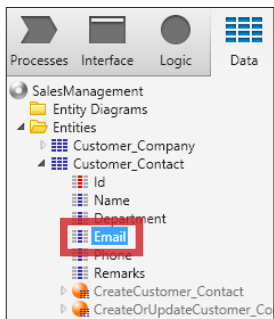
- 氏名 : Name
- 部署名 : Department
- メールアドレス : Email
- 電話番号 : Phone
- 備考 : Remarks

06

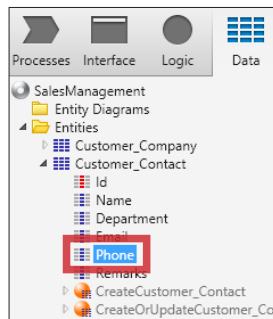
Name Entity Attribute	
Name	Name
Description	
Label	氏名
Data Type	Text
Length	50
Decimals	
Is AutoNumber	No
Is Mandatory	Yes
Delete Rule	Protect
Default Value	



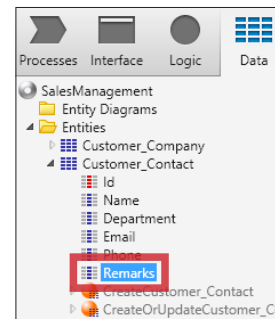
Department Entity Attribute	
Name	Department
Description	
Label	部署名
Data Type	Text
Length	50
Decimals	
Is AutoNumber	No
Is Mandatory	No
Delete Rule	Protect
Default Value	



Email Entity Attribute	
Name	Email
Description	
Label	メールアドレス
Data Type	Email
Length	250
Decimals	
Is AutoNumber	No
Is Mandatory	No
Delete Rule	Protect
Default Value	



Phone Entity Attribute	
Name	Phone
Description	
Label	代表電話番号
Data Type	Phone Number
Length	20
Decimals	
Is AutoNumber	No
Is Mandatory	No
Delete Rule	Protect
Default Value	



Remarks Entity Attribute	
Name	Remarks
Description	
Label	備考
Data Type	Text
Length	1000
Decimals	
Is AutoNumber	No
Is Mandatory	No
Delete Rule	Protect
Default Value	

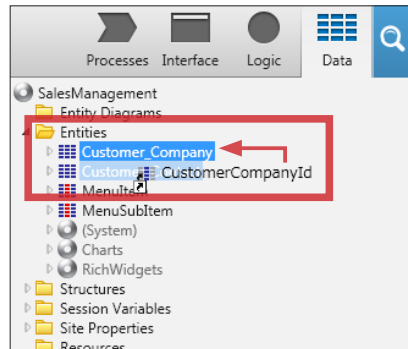
担当者が、どの顧客企業に属しているかという情報を持つ必要があるため、先に作成した顧客企業情報「Customer_Company」 Entityと関連付けを行います。

07 「Customer_Company」 Entityをドラッグし、「Customer_Contact」 Entityに重ねてドロップする。

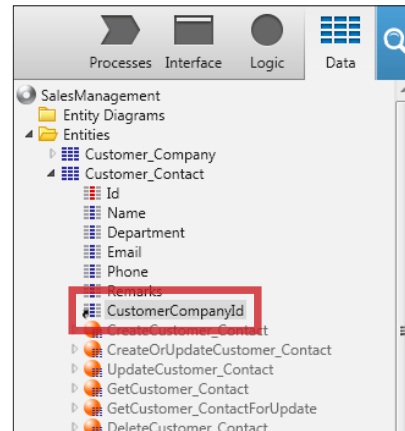
- ドラッグした状態で重ねると、「Customer_Comntact」 が点滅状態となるので、それを確認してドロップします。

08 「Customer_Contact」 に「CustomerCompanyId」 Attributeが追加されることを確認する。

07

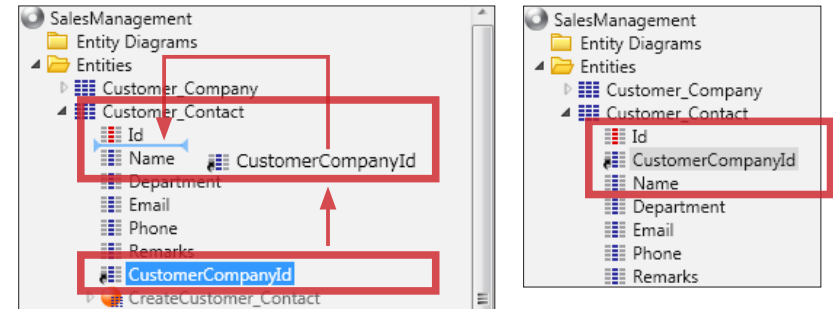


08



09 わかりやすくするため、追加された「CustomerCompanyId」をドラッグし、「Id」 Attributeの次に移動させる。

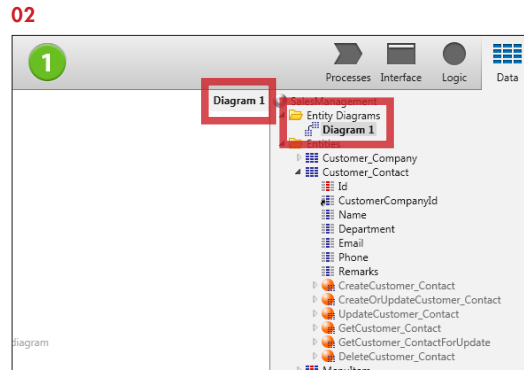
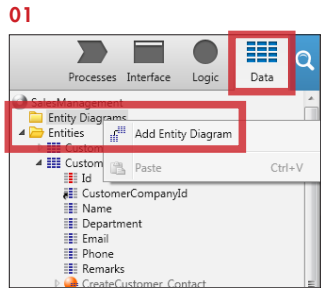
09



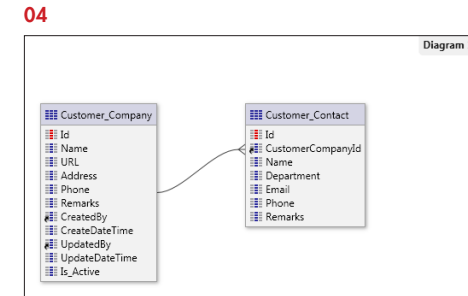
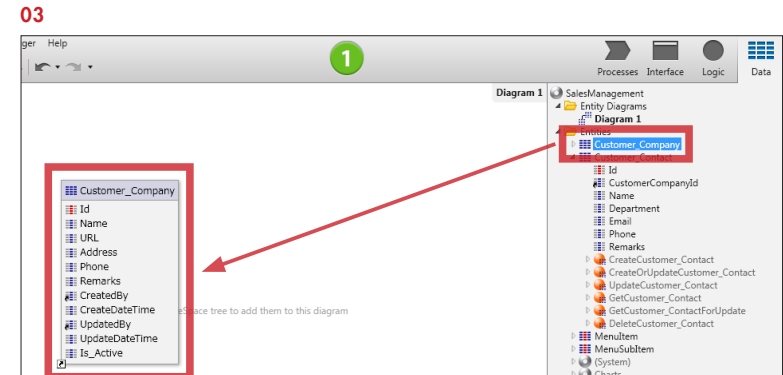
Entity 同士の関連を確認する

Entity 間の関連をわかりやすくするため、Entity 図を表示させることができます。

- 01 Data レイアの「Entity Diagrams」フォルダを右クリックし、「Add Entity Diagram」を選択する。
- 02 作成された「Diagram 1」が開くことを確認する。



- 03 「Customer_Company」 Entity をドラッグし、開いた「Diagram 1」にドロップする。
- 04 同様に、「Customer_Contact」 Entity をドラッグして「Diagram 1」にドロップする。
 - 「Customer_Company」と「Customer_Contact」が1対多の関連であることが確認できます。

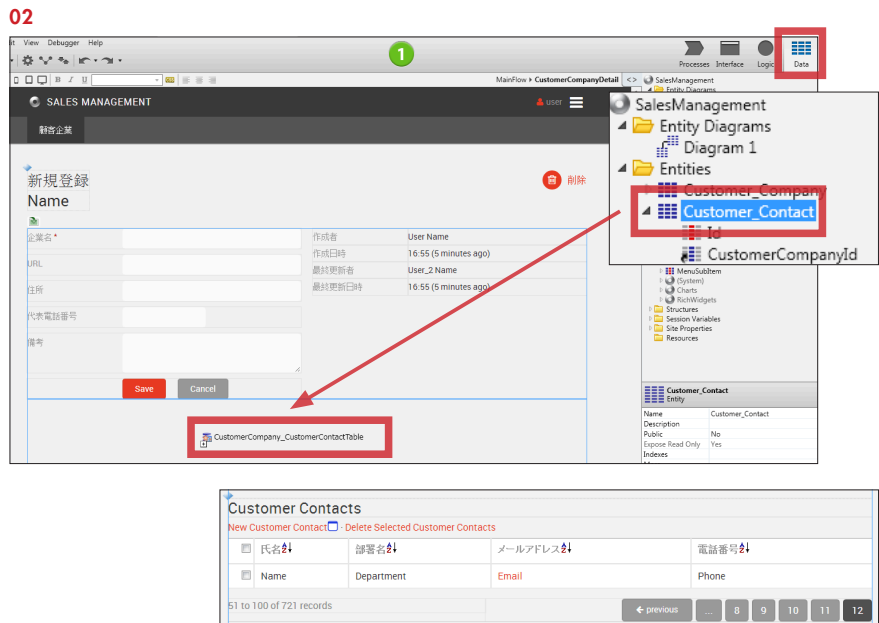


5.2. 一覧画面を作成する

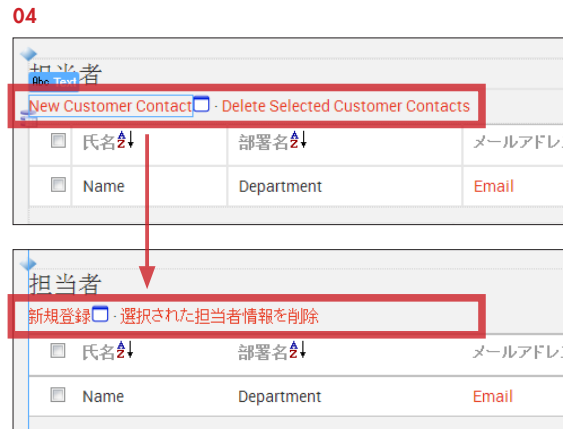
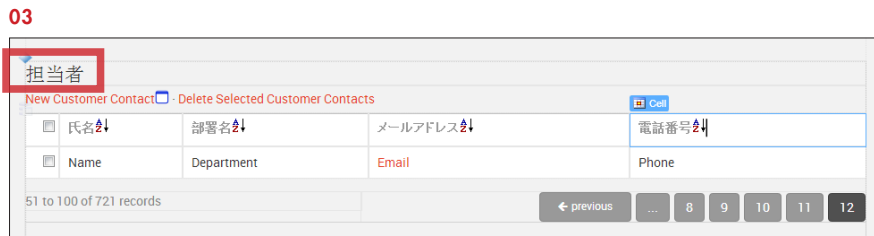
一覧画面を作成する

顧客企業担当者情報は、顧客企業情報に紐づくデータであるため、顧客企業情報の詳細画面でその企業に属する担当者一覧が管理できるようにします。

- 01 Interface レイヤを開き、「ScreenFlow」>「MainFlow」の「CustomerCompany Detail」 WebScreen をダブルクリックで開く。
- 02 Data レイヤを開き「Customer_Contact」 Entity をドラッグして、「Customer CompanyDetail」 WebScreen の下部にドロップする。
 - 「Customer Contacts」というラベルと、「Customer_Contact」 Entity の項目を持つ表が生成されることを確認します。



- 03 「Customer Contacts」というラベルを「担当者」と変更する。
- 04 「New Customer Contact」というリンクのラベルを「新規登録」に、「Delete Selected Customer Contacts」リンクのラベルを「選択された担当者情報を削除」に変更する。
 - 左下のセレクトラで確認できる通り、リンクのテキストは「Link」の中に「Text」が入っている構造となります。

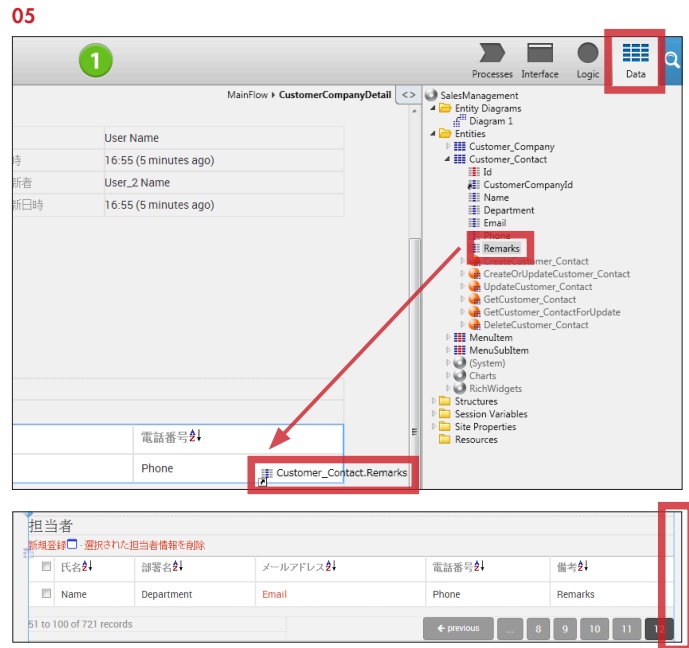


担当者情報をこの一覧で参照できるよう、以下の修正を行います。

- 「備考」情報を一覧に加える。
- 「メールアドレス」と「電話番号」を、「連絡先」列にまとめる。

05 Dataレイヤを開き、「Customer_Contact」 Entityの「Remarks」 Attributeをドラッグし、先に作成した担当者一覧の「電話番号」列の右隣に入るようドロップする。

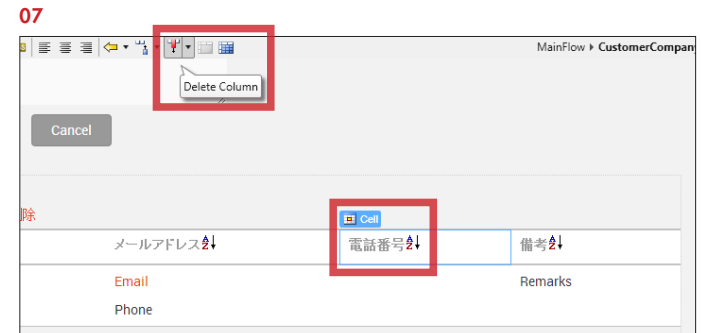
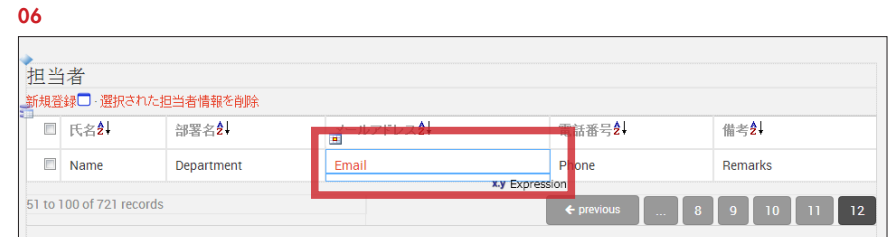
- ドラッグすると、ドロップできる先が水色の太線で表示されます。
- 「電話番号」列にかぶせるようにすると、「電話番号」列の右側に水色の太線が表示されます。



06 「電話番号」列の Expression 「Phone」をドラッグし、「メールアドレス」列の「Email」リンクの下にドロップする。

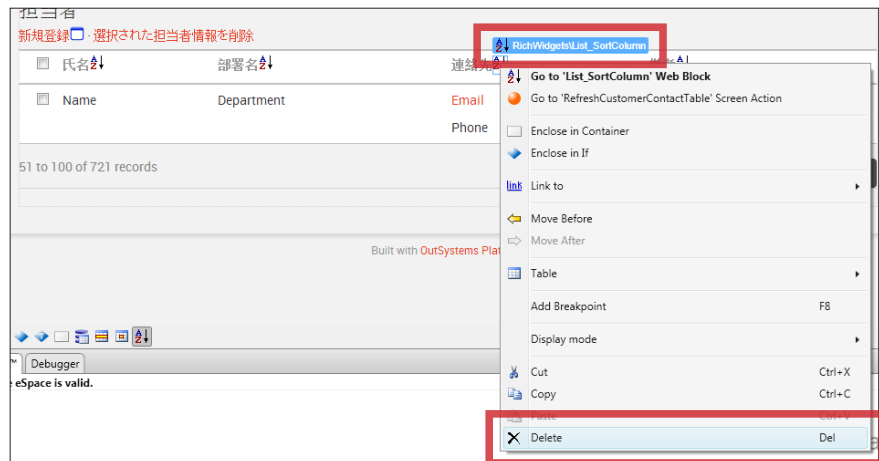
- 図のように、Emailの下に水色の太線が現れたところでドロップします。

07 「電話番号」列が空になったので、ヘッダの「電話番号」と書かれている Cell をクリックして選択状態とし、上部の「Delete Column」をクリックして列を削除する。



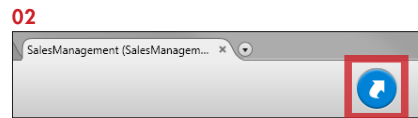
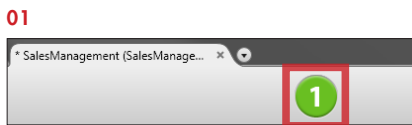
08 「メールアドレス」ヘッダを「連絡先」に変更し、当該ヘッダに含まれる「RichWidgets\List_SortColumn」Widgetを削除する。

- 「RichWidgets\List_SortColumn」Widgetを選択して「Delete」ボタン押すか、右クリックして「Delete」を選択します。
- 「RichWidgets\List_SortColumn」Widgetは、列名をクリックすることにより列の並び替え（昇順、降順）を行なえるようにするWidgetです。

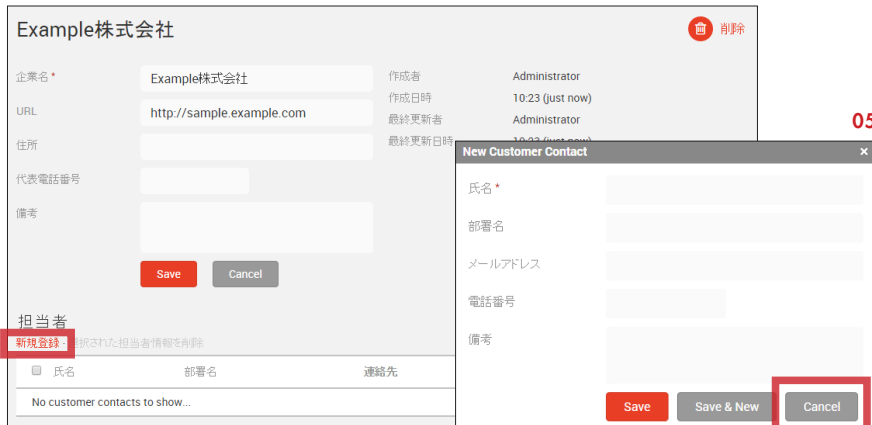


1-Click Publishをして、アプリケーションの動作を確認する

- 01** 1-Click Publish ボタンを押して、Publishを行う。
- 02** Open In Browser ボタンを押して、ブラウザを起動する。
- 03** 任意の登録済顧客企業を選択して、顧客企業詳細／編集画面に遷移する。
 - 1件も登録されていない場合には、顧客企業一覧画面の「新規登録」リンクから登録します。
- 04** 担当者一覧が表示されることを確認し、「担当者」ラベルの直下にある「新規登録」リンクをクリックする。
- 05** 担当者情報登録用のポップアップ画面が表示されることを確認し、ここでは登録は行わずに「Cancel」をクリックしてポップアップを閉じる。



03・04



5.3. ポップアップの詳細／編集画面を作成する

詳細／編集画面を作成する

先に動作させた通り、「担当者」の「新規登録」リンクをクリックすると登録用のポップアップが表示されることを確認できました。自動で生成されたこのポップアップ画面で、編集も行えるように変更していきます。

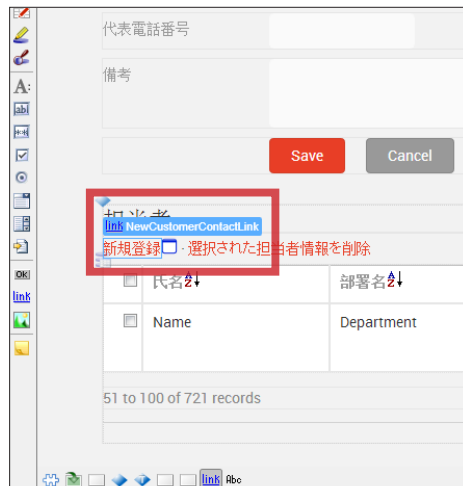
01 「CustomerCompanyDetail」 WebScreen を開く。

- 開いていない場合は、Interface レイヤを開き、「ScreenFlow」 > 「MainFlow」 の「Customer CompanyDetail」 WebScreen をダブルクリックで開きます。

02 「担当者」の「新規登録」リンクをダブルクリックする。

- このリンクの遷移先 (Destination) である「CustomerCompany_CustomerContact_PopupEditor」 WebScreen が開くことを確認します。

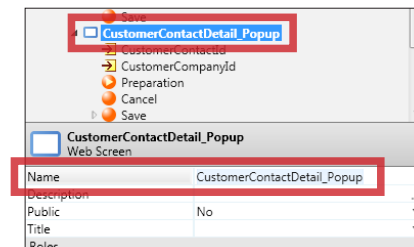
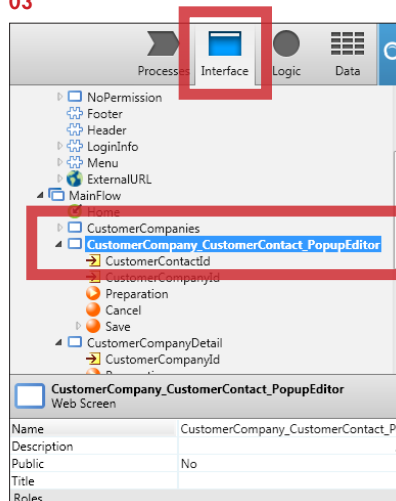
01・02



WebScreen 「CustomerCompany_CustomerContact_PopupEditor」では名前が長いので、リネームします。

03 Interface レイヤから、「ScreenFlows」 > 「MainFlow」の「CustomerCompany_CustomerContact_PopupEditor」を選択し、プロパティの「Name」を「CustomerContactDetail_Popup」に変更する。

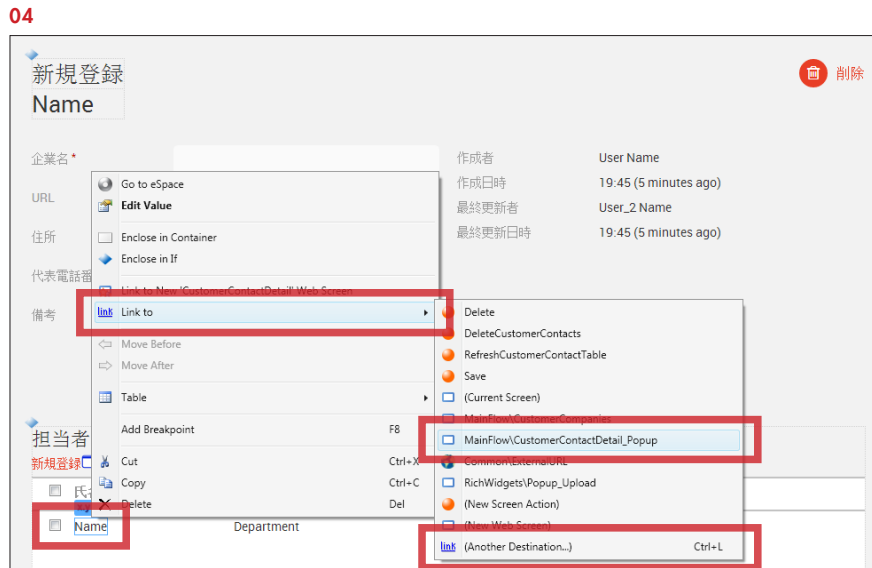
03



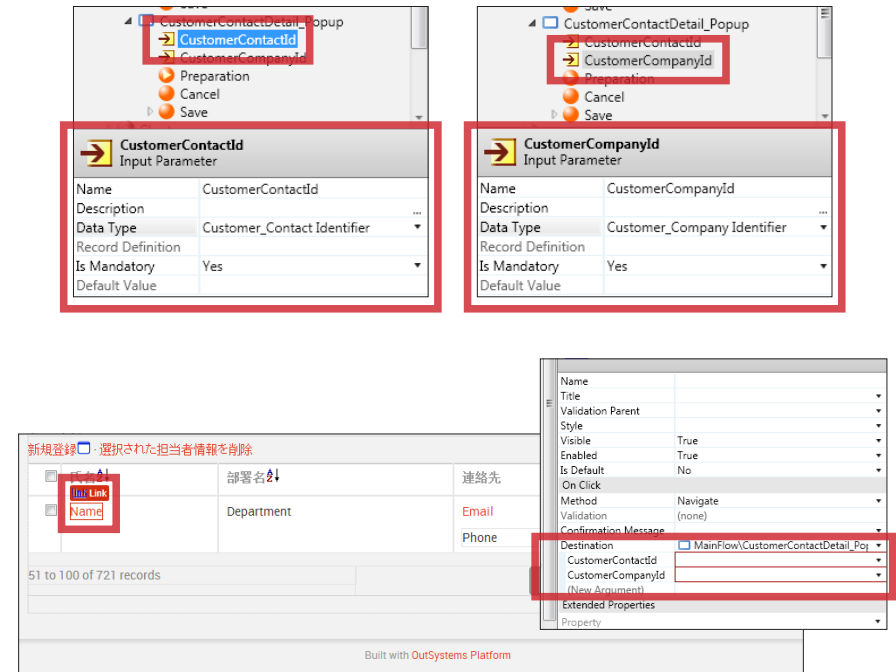
「CustomerCompanyDetail」 WebScreenに戻り、詳細／編集を行うためのリンクを追加します。

04 担当者氏名から詳細／編集画面へ遷移させるようにするため、「氏名」列にある Expression 「Name」を右クリックし、「Link to」→「MainFlow\CustomerContact Detail_Popup」を選択する。

- 候補として「MainFlow\CustomerContactDetail_Popup」が表示されていない場合は、「(Another Destination...)」をクリックし、「MainFlow\CustomerContactDetail_Popup」を選択します。

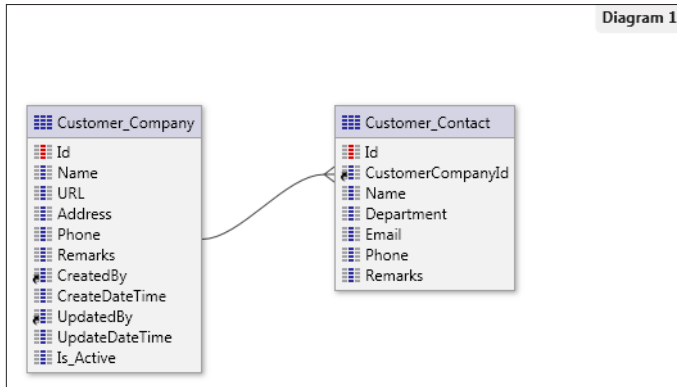


「CustomerContactDetail_Popup」 WebScreenは、2つの Input Parameter 「CustomerContactId」と「CustomerCompanyId」を持ち、これらはいずれも「Is Mandatory (必須)」が「Yes」と設定されています。このため、当該画面を「Destination」とする「Link」には、これら2つの値を設定する必要があります。



05 「CustomerContactId」と「CustomerCompanyId」には、それぞれ候補として挙がっている値を設定する。

- これらの値がどの値を指しているかは、一度候補から値を選択した後に、再度ドロップダウンリストから「(Expression Editor...)」を選択すると、選択済の値をツリーで確認することができます。
- 2つ目の「CustomerCompanyId」には、2つの候補「CustomerCompany_CustomerContactTable.List.Current.Customer_Company.Id」と「CustomerCompany_CustomerContactTable.List.Current.Customer_Company.CustomerCompanyId」が挙がっていますが、「Customer_Contact」 Entityの「CustomerCompanyId」は、「Customer_Company」 Entityの「Id」を参照しているため、ここでは同じ値となります。



The screenshot displays the configuration interface for a link named "Link". It is divided into two main sections, each showing a dropdown menu for a property.

Top Section (CustomerContactId):

- Property: CustomerContactId
- Value: CustomerCompany_CustomerContactTable.List.Current.Customer_Contact.Id

Bottom Section (CustomerCompanyId):

- Property: CustomerCompanyId
- Value: CustomerCompany_CustomerContactTable.List.Current.Customer_Contact.Id

Both dropdown menus are highlighted with red boxes, indicating the selection process. The interface also includes fields for Name, Title, Validation Parent, Style, Visible, Enabled, Is Default, On Click, Method, Validation, Confirmation Message, Destination, and Extended Properties.

リンクの先をポップアップで表示するように設定する

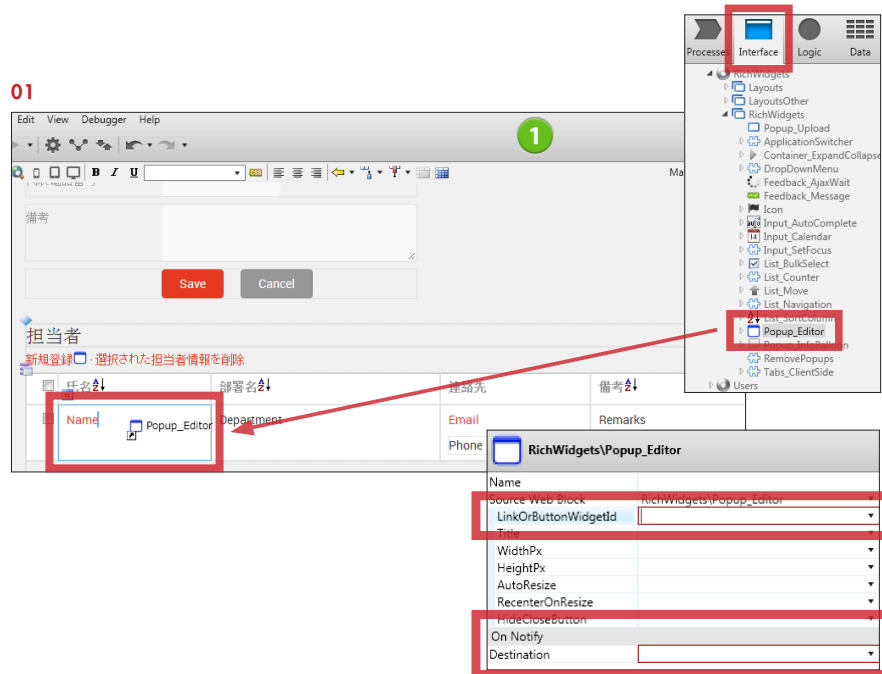
詳細／編集画面「CustomerContactDetail_Popup」へのリンク設定は完了しましたが、現状ではただのリンクであるため、クリックするとポップアップが表示されずに、そのまま画面遷移をしてしまいます。「新規登録」リンクに設定されている「Popup_Editor」を氏名からのリンクにも追加します。「Popup_Editor」は、リンク先をポップアップで開くことができます。



01 Interface レイヤを開き、「Screen Flows」>「RichWidgets」>「RichWidgets」から、「Popup_Editor」をドラッグし、担当者一覧の Expression 「Name」の右横にドロップします。

- Name の真横に水色のインディケータが出ることを確認してドロップする。

配置した「Popup_Editor」を選択状態にし、プロパティを確認すると、「LinkOrButtonWidgetId」（ポップアップとする対象のリンクまたはボタンのWidgetId）と「Notify」時の「Destination」が必須項目となるため、これを設定していきます。



「Popup_Editor」に「LinkOrButtonWidgetId」を設定するためには、まず対象のリンクのプロパティに「Name」が設定されている必要があります。

02 担当者氏名の Expression 「Name」 にかかる 「Link」 を選択する。

03 「Name」 プロパティに 「EditCustomerContactLink」 と設定する。

02・03

担当者

新規登録 選択された担当者情報を削除

氏名 <input type="checkbox"/>	部署名 <input type="checkbox"/>	連絡先	備考 <input type="checkbox"/>
link EditCustomerContactLink	Department	Email	Remarks
Name <input type="checkbox"/>	Department	Email	Remarks
		Phone	

51 to 100 of 721 records

link EditCustomerContactLink

Name	EditCustomerContactLink
Validation Parent	
Style	
Visible	True
Enabled	True
Is Default	No
On Click	
Method	Navigate
Validation	(none)
Confirmation Message	
Destination	<input type="checkbox"/> MainFlow\CustomerContactDetail_f
CustomerContactId	CustomerCompany_CustomerContactT...
CustomerCompanyId	CustomerCompany_CustomerContactT...
(New Argument)	
Extended Properties	

Built with OutSystems Platform

04 再度 Expression 「Name」 の横に配置した 「Popup_Editor」 を選択し、「LinkOrButtonWidgetId」プロパティのドロップダウンリストから 「EditCustomerContactLink.Id」 を選択する。

04

担当者

新規登録 選択された担当者情報を削除

氏名 <input type="checkbox"/>	部署名 <input type="checkbox"/>	連絡先	備考 <input type="checkbox"/>
RichWidgets\Popup_Editor	Department	Email	Remarks
Name <input type="checkbox"/>	Department	Email	Remarks
		Phone	

51 to 100 of 721 records

RichWidgets\Popup_Editor

Name	
Source Web Block	RichWidgets\Popup_Editor
LinkOrButtonWidgetId	LinkOrButtonWidgetId
Title	*Y (Expression Editor...)
WidthPx	
HeightPx	Suggestions
AutoResize	CustomerCompanyForm.Id
RecenterOnResize	CustomerCompanyShow.Id
HideCloseButton	CustomerCompany_CustomerContactTable_Wrapper.Id
On Notify	CustomerCompany_CustomerContactTableRead
Destination	<input checked="" type="checkbox"/> EditCustomerContactLink.Id
	<input type="checkbox"/> NewCustomerContactLink
	<input type="checkbox"/> InkDeleteSelectedCustomerContact.Id

Built with OutSystems Platform

ここでは、「Popup_Editor」の「On Notify」>「Destination」には、担当者の「新規登録」リンクに設定された「Popup_Editor」と同じScreen Actionを設定します。担当者の「新規登録」リンクの隣に配置された「Popup_Editor」を選択してプロパティを確認すると、「Destination」には「RefreshCustomerContactTable」ScreenActionが設定されていることがわかるので、これを編集用リンクの「Popup_Editor」にも設定します。

RichWidgets\Popup_Editor	
Name	
Source Web Block	RichWidgets\Popup_Editor
LinkOrButtonWidgetId	NewCustomerContactLink.Id
Title	"New Customer Contact"
WidthPx	
HeightPx	
AutoResize	
RecenterOnResize	
HideCloseButton	
On Notify	
Destination	RefreshCustomerContactTable
ResetFilters	False
ResetPagination	False
(New Argument)	

05 担当者一覧のExpression「Name」のリンク横にある「Popup_Editor」を選択し、「Destination」プロパティのドロップダウンリストから、「RefreshCustomerContactTable」ScreenActionを選択する。

06 「RefreshCustomerContactTable」ScreenActionのInput Parameter「Reset Filters」と「ResetPagenation」には、それぞれ「False」を設定しておく。

07 「Title」プロパティに「"担当者情報の編集"」と設定する。

- この「Title」プロパティに設定した値が、ポップアップ画面のタイトルとして表示されます。

05

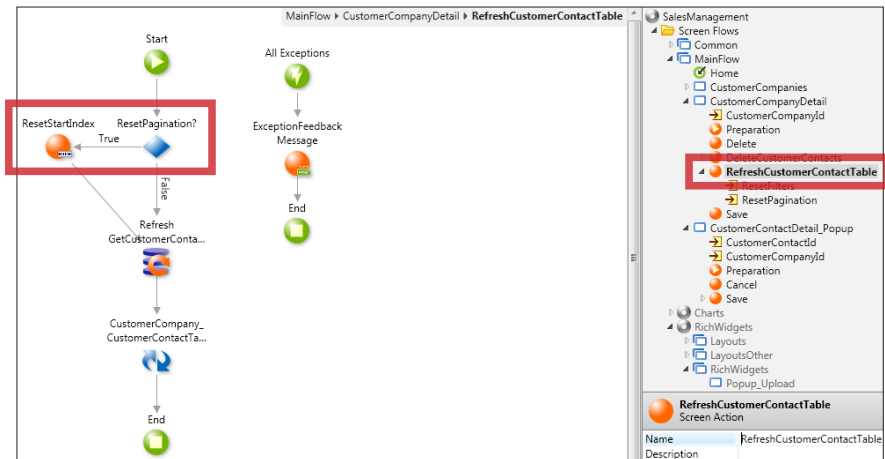
06・07

RichWidgets\Popup_Editor	
Name	
Source Web Block	RichWidgets\Popup_Editor
LinkOrButtonWidgetId	EditCustomerContactLink.Id
Title	"担当者情報の編集"
WidthPx	
HeightPx	
AutoResize	
RecenterOnResize	
HideCloseButton	
On Notify	
Destination	RefreshCustomerContactTable
ResetFilters	False
ResetPagination	False
(New Argument)	

参考

「RefreshCustomerContactTable」 ScreenAction について

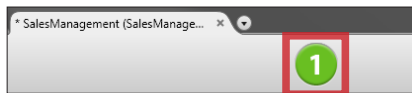
Interface レイヤを開き、「Screen Flows」>「MainFlow」>「CustomerCompanyDetail」の「Refresh CustomerContactTable」Screen Actionを開くと、Input Parameterとして「ResetFilters」と「Reset Pagenation」が設定されており、いずれも必須（「Is Mandatory」=「Yes」）であることを確認できます。また、このアクション内では、担当者一覧（Customer_Contact）を取得し直し、担当者一覧を再表示をさせているロジックが記載されています。



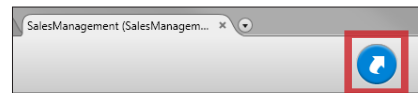
1-Click Publish をして、アプリケーションの動作を確認する

- 01 1-Click Publish ボタンを押して、Publish を行う。
- 02 Open In Browser ボタンを押して、ブラウザを起動する。
- 03 任意の登録済顧客企業を選択して、顧客企業詳細／編集画面に遷移する。
- 04 担当者の「新規登録」リンクをクリックし、「氏名」とその他任意項目を入力して「Save」をクリックする。
- 05 ポップアップが閉じ、入力した内容が一覧に追加されたことを確認する。
- 06 登録した氏名をクリックして編集画面を開き、任意項目を追加／編集し、担当者一覧に反映されることを確認する。

01



02



03・04・05



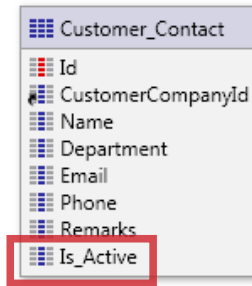
06



5.4. 削除ロジックを変更する

データ項目を追加する

顧客企業担当者情報も、顧客企業情報と同様、物理削除でなく論理削除とします。「Is_Active」Attributeを準備し、Is_Active = Trueの場合はデータを有効とみなし、Is_Active = Falseの場合はデータが無効であるとみなすこととします。

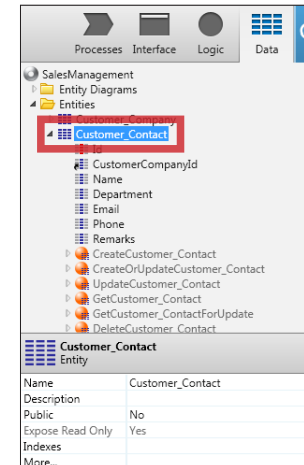


01 「Customer_Contact」 Entityを選択し、プロパティの「More...」の右側にある「...」をクリックし、Entity Editorを開く。

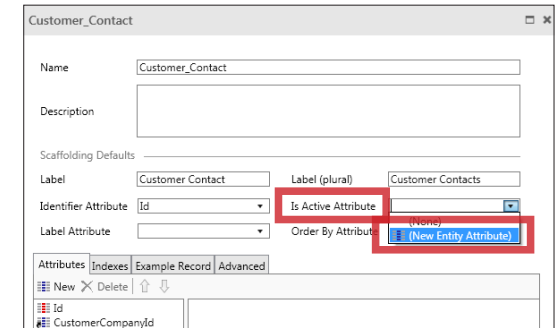
- 「Customer_Contact」 EntityをダブルクリックしてもEntity Editorを開くことができます。

02 「Is Active Attribute」のドロップダウンリストから「(New Entity Attribute)」を選択して、「Is_Active」Attributeを追加する。

01



02

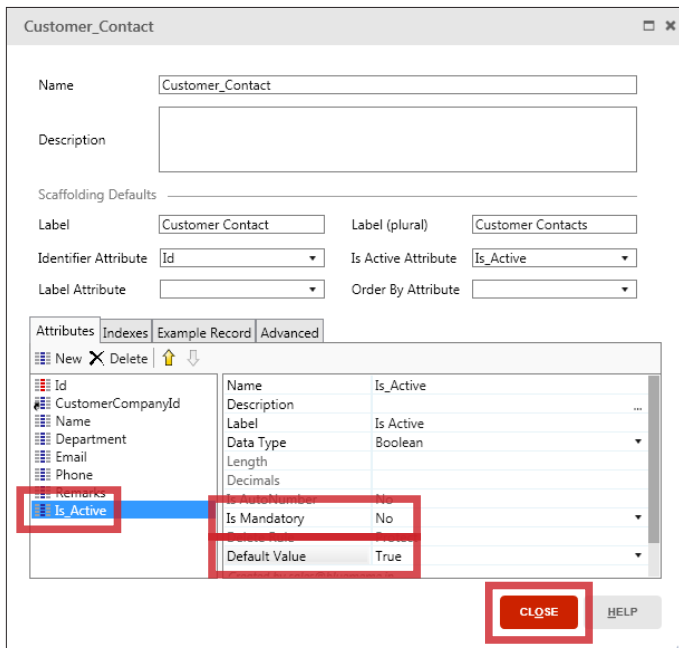


03 「Is_Active」Attributeの「Is Mandatory」を「No」に変更し、「Default Value」に「True」と設定する。

- これにより、「Is_Active」Attributeの初期値をTrueとすることができます。

04 「Close」ボタンを押して、Entity Editorを閉じる。

03・04



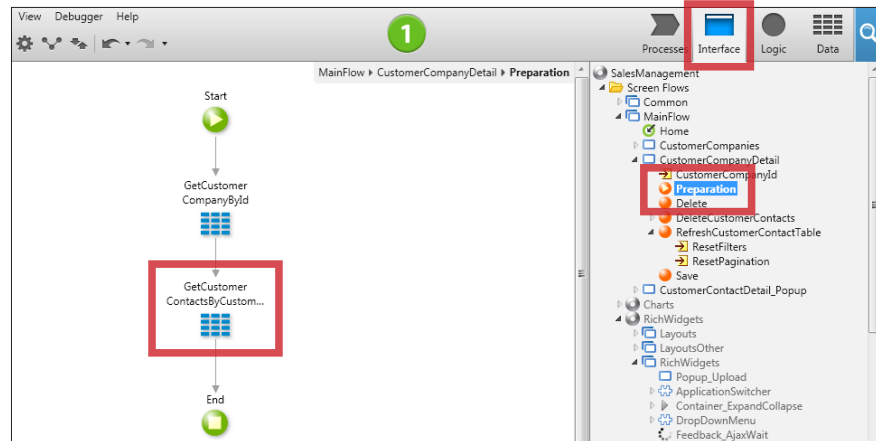
有効なデータのみを表示させるよう一覧画面のクエリ条件を変更する

01 Interface レイヤを開き、「ScreenFlow」>「MainFlow」>「CustomerCompanyDetail」WebScreenの直下にある「Preparation」をダブルクリックで開く。

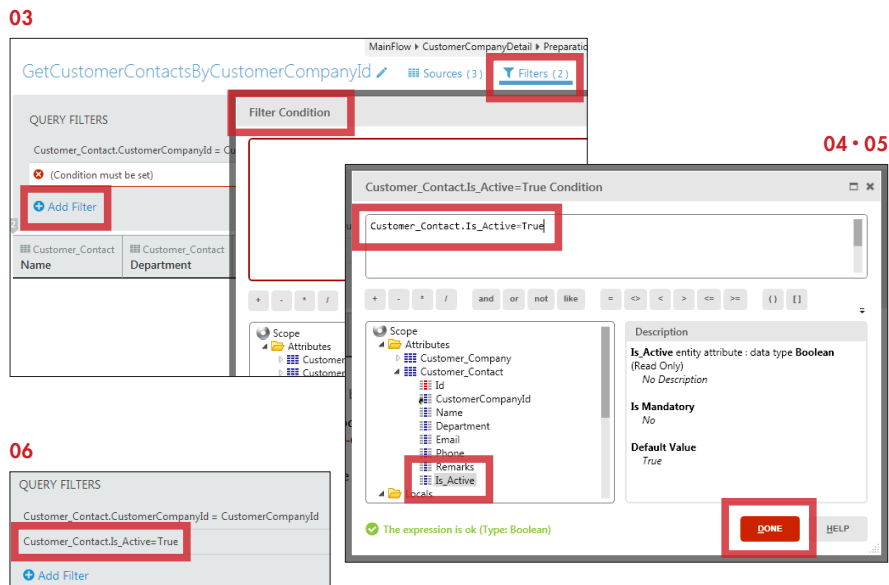
02 アクションフローに配置されている2つ目のAggregate「GetCustomerContactsByCustomerCompanyId」をダブルクリックして開く。

- 1つ目のAggregate「GetCustomerCompanyById」はInput Parameter「CustomerCompanyId」を引数として、顧客企業情報を取得してきています。Idを指定しているため、1件のみを取得しています。

01・02



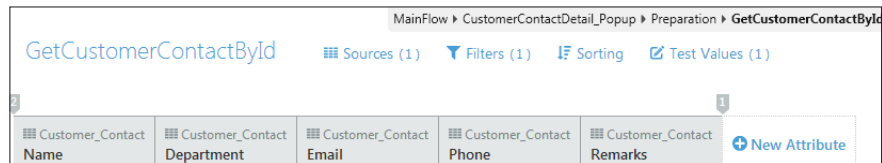
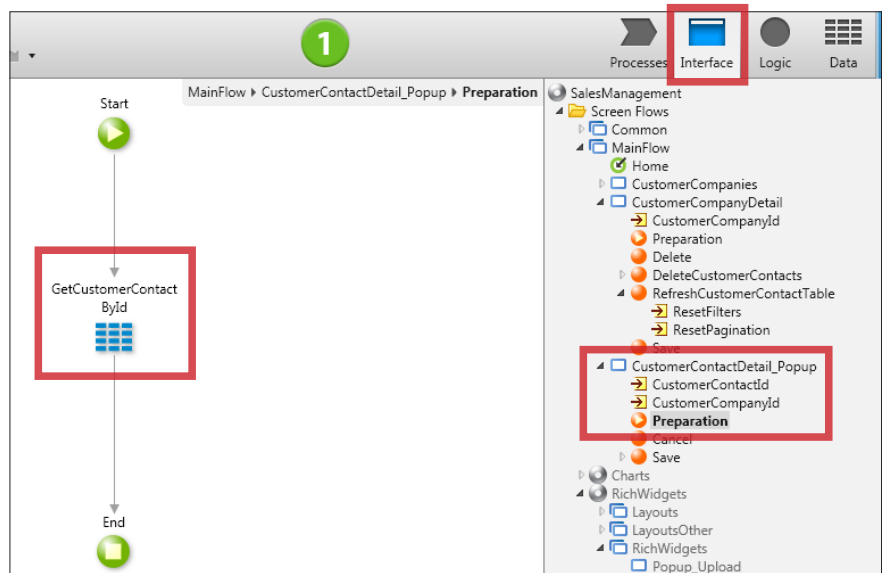
- 03** 「Filters」→「Add Filter」の順にクリックし、「Filter Condition」エディタを開く。
- 04** 「Customer_Contact.Is_Active = True」とセットする。
- 左下ツリーの、Scope > Attributes > Customer_Contact > Is_Activeをダブルクリックすることで「Customer_Contact.Is_Active」がセットされます。
 - 本条件により、Is_Active = Trueを持つ担当者情報のみが表示されるようになります。
- 05** 「Done」ボタンを押して、エディタを閉じる。
- 06** 「QUERY FILTERS」に「Customer_Contact.Is_Active = True」が追加されていることを確認する。



有効なデータのみを取得できるよう、クエリ条件を変更する

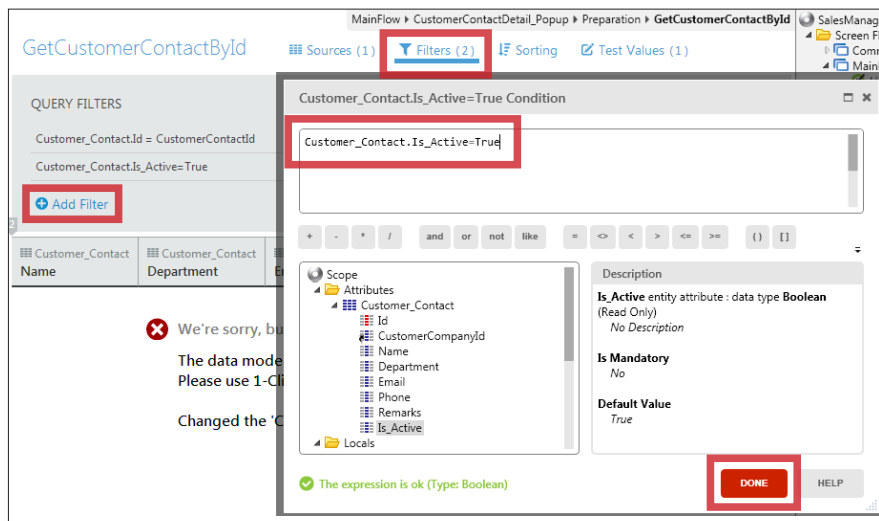
- 01** Interfaceレイヤを開き、「ScreenFlow」>「MainFlow」>「CustomerContactDetail_Popup」WebScreenの直下にある「Preparation」をダブルクリックで開く。
- 02** アクションフローに配置されているAggregate「GetCustomerContactById」をダブルクリックして開く。

01・02



- 03 「Filters」→「Add Filter」の順にクリックし、「Filter Condition」エディタを開く。
- 04 「Customer_Contact.Is_Active = True」とセットする。
- 05 「Done」ボタンを押して、エディタを閉じる。
- 06 「QUERY FILTERS」に「Customer_Contact.Is_Active = True」が追加されていることを確認する。

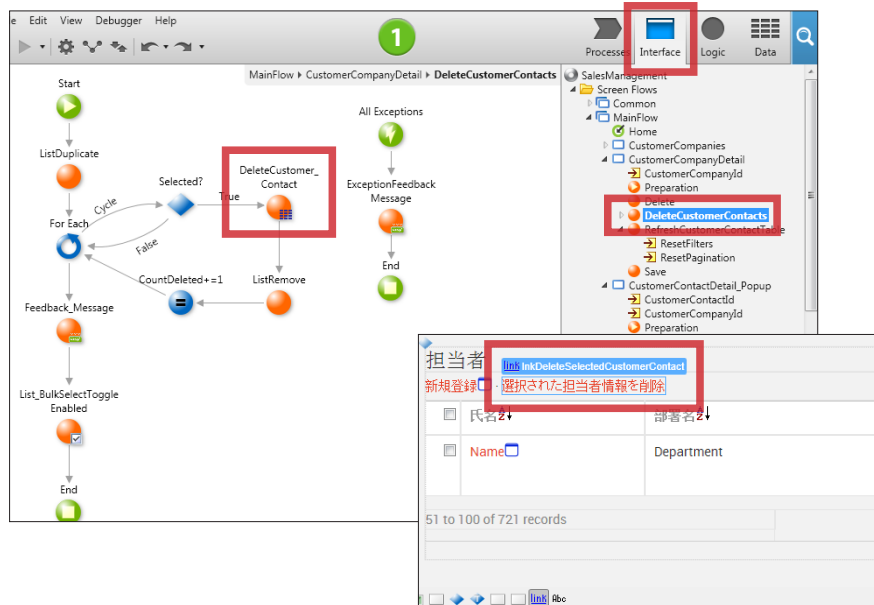
03・04・05



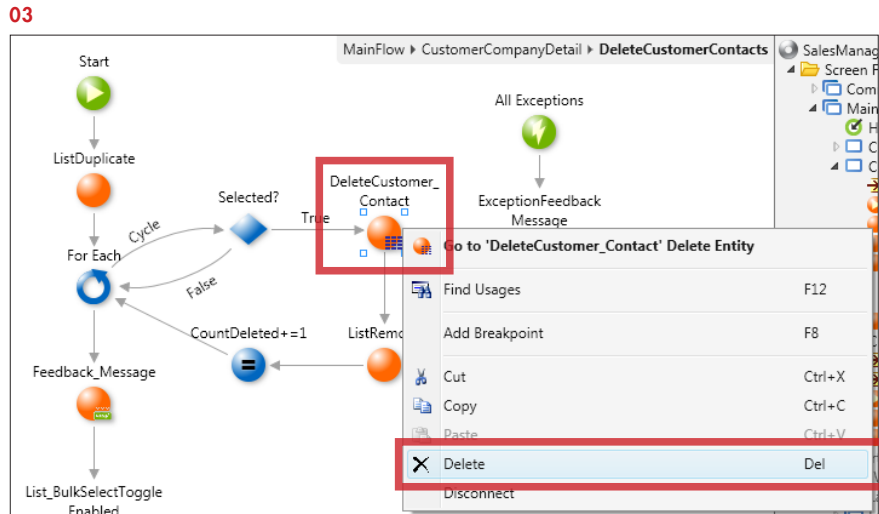
削除ロジックを変更する

- 01 Interface レイヤを開き、「ScreenFlow」>「MainFlow」>「CustomerCompany Detail」WebScreen をダブルクリックで開く。
- 02 既に用意されている削除ロジックを変更したいため、担当者一覧の「選択された担当者情報を削除」リンクの「Link」をダブルクリックする。
 - 同画面に付属する「DeleteCustomerContacts」Screen Action が開くことを確認します。
 - 現実装では、「DeleteCustomer_Contact」Action が呼ばれ、物理削除が行われているのでこれを変更します。

01・02



03 「DeleteCustomer_Contact」 Action を右クリックして、「Delete」を選択して削除する。

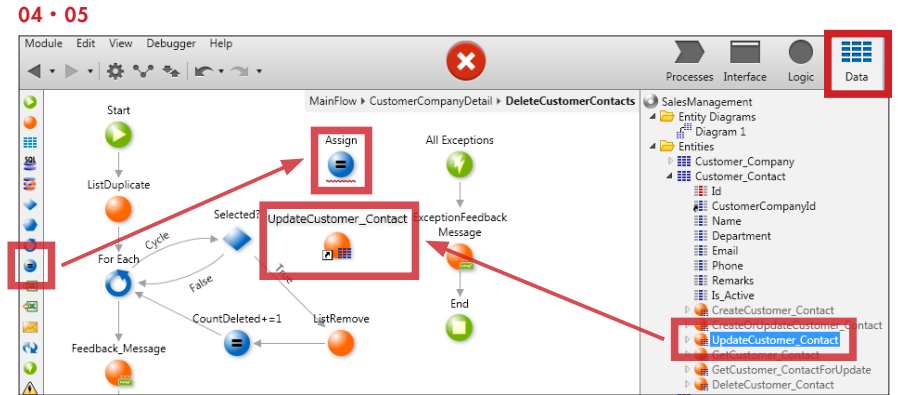


04 左側のツールボックスから「Assign」をドラッグして、何も無い所にドロップする。

- 値は後程セットするので、ここでは配置するのみとします。

05 Dataレイヤを開き、「Customer_Contact」 Entityの「UpdateCustomer_Contact」 Actionをドラッグし、先に配置した「Assign」の下にドロップする。

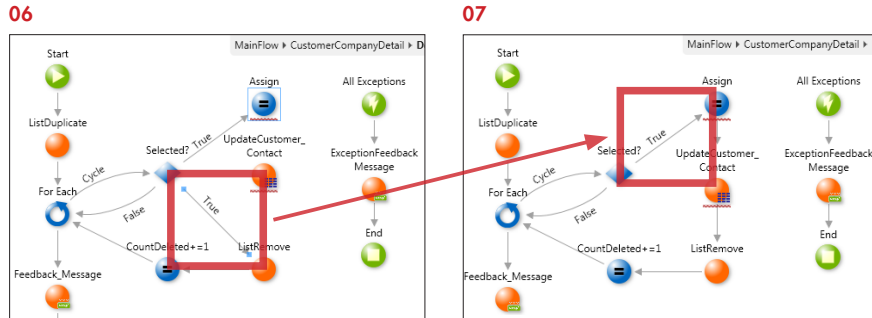
- 値は後程セットするので、ここでは配置するのみとします。



06 If 「Selected?」のTrueの矢印フローを、「ListRemove」から先ほど配置した「Assign」に繋ぎかえる。

- 矢印フローをクリックして選択状態とし、矢印終端部分にマウスオーバーするとカーソルが十字になります。この十字の状態で、ドラッグして「Assign」にマウスオーバーしてドロップすると、つなぎ先を変えることができます。

07 「Assign」から「UpdateCotomer_Contact」、「UpdateCotomer_Contact」から「List Remove」をフロー線で接続します。

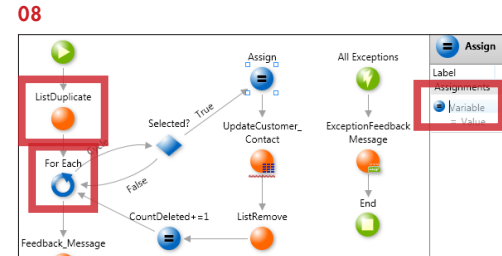


「DeleteCustomerContacts」Screen Actionのフローでは、まず最初に画面上のTable Records 「CustomerCompany_CustomerContactTable.List」を複製したListを作成し、その複製したListをFor Eachで繰り返し、処理を行っています。従って、この複製されたListのうち、削除対象として選択された項目 (If 「Selected?」がTrueとなる項目) の「Is_Active」AttributeをFalseに設定して、「UpdateCustomer_Contact」Actionでデータの更新を行います。

08 「Assign」を選択し、プロパティの「Variable」のドロップダウンリストから、「(Select Variable...)」を選択する。

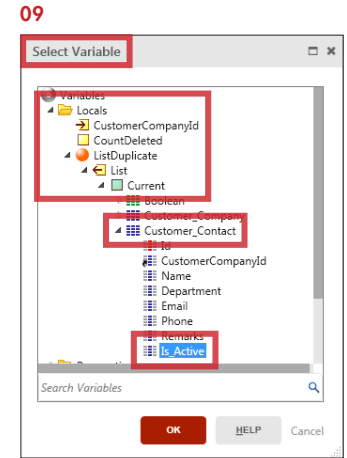
09 「Select Variable」画面で、「Locals」>「ListDuplicate」>「List」>「Current」>「Customer_Contact」>「Is_Active」を選択し、「OK」ボタンを押す。

10 「Value」には「False」を設定する。



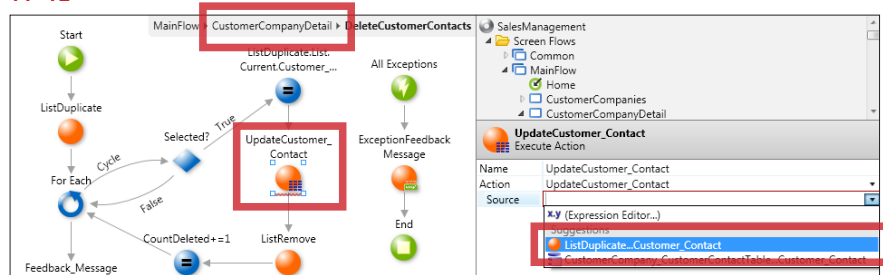
10

ListDuplicate.List.Current.Customer_Contact.Is_Active	
Assign	
Label	
Assignments	
ListDuplicate.List.Current.Customer_Contact.Is_Active	▼
= False	▼
Variable	▼



- 11 「UpdateCustomer_Contact」 Action を選択し、プロパティ「Source」に「List Duplicate.List.Current.Customer_Contact」を設定する。
- 12 「CustomerCompnayDetial」 Web Screen を開く。
 - 上部のブレッドクラムの「CustomerCompanyDetail」をクリックすると、直接開くことができます。
- 13 担当者の「選択された担当者情報を削除」 Link を選択し、プロパティ「Confirmation Message」を「" 選択された項目を削除します。よろしいですか?"」に変更する。

11・12



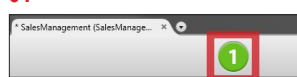
13

Validation: (none)
Confirmation Message: " 選択された項目を削除します。よろしいですか?"
Destination: DeleteCustomerContacts

1-Click Publish をして、アプリケーションの動作を確認する

- 01 1-Click Publish ボタンを押して、Publish を行う。
- 02 Open In Browser ボタンを押して、ブラウザを起動する。
- 03 任意の登録済顧客企業を選択して、顧客企業詳細／編集画面に遷移する。
- 04 削除する担当者をチェックボックスで選択し、「選択された担当者情報を削除」リンクをクリックする。
 - 先に設定した文言の確認メッセージが表示されることを確認します。
- 05 OK を押すとフィードバックメッセージが表示され、担当者一覧から、選択したユーザが削除されていることを確認する。

01



02



03・04

05